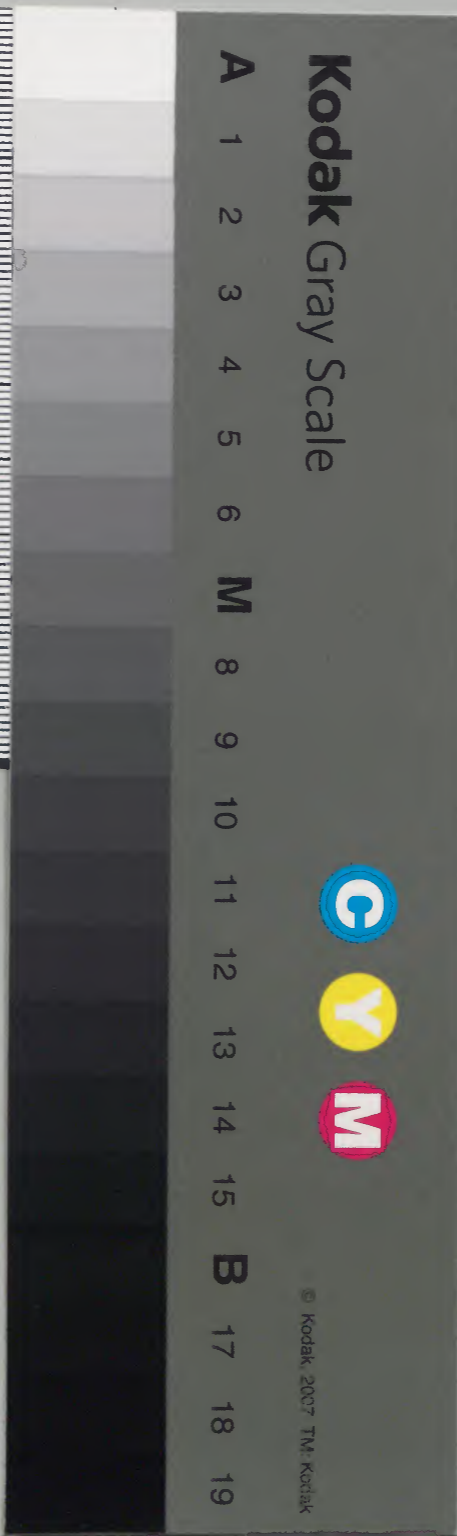


古今栄雅抄

和書門			
二七三八	一〇七	九	一六
號	函	架	冊
類			

内閣文庫	
二七三八	和書
一〇七	函
九	架
一六	冊
一六	冊
四	架

内閣文庫	
番號	和 27348
冊數	16 (3)
函號	200 54



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

たつたきよいけぬる一付つてあなを... 友比びり水の行るくわさるるが... 月令云春月東風解凍とらつた也
ひちくくをひくくしてたり... 後撰よむり... 拾遺よむり... 後撰よむり... 拾遺よむり...
後撰よむり... 拾遺よむり... 後撰よむり... 拾遺よむり...
後撰よむり... 拾遺よむり... 後撰よむり... 拾遺よむり...
後撰よむり... 拾遺よむり... 後撰よむり... 拾遺よむり...

大中納言... 三之野... 山... 陽成院... 母...
三之野の山... 陽成院の母...
三之野の山... 陽成院の母...
三之野の山... 陽成院の母...
三之野の山... 陽成院の母...

△二条右の妻乃けり一先の湯...
中納言長良女也... 陽成院の母也...

人よんせきりく... 九司... 疾人志... 疾人志... 疾人志...

おのれ... 疾人志... 疾人志... 疾人志... 疾人志...

大政大臣... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公...

忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公...

大政大臣... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公...

忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公...

忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公... 忠仁公...

まの口のふとと春草
あはれなるこま
ありて思えしあはれ
あるは遠くはるの川を
舟のゆくまはる
我あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の

貞妻乃目の光り小あはれ我なれとわらふ言とあるそ日し
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の

△文屋康秀 日まの河玉成
△吾乃ありたるそとあり
△肥後之

下白君世あはれくしてわめ言もく身切の言もく
ま白詩云瑞月雪花教千點片々吟落春風香しりり
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の

安繼一三言直
内室因情持極

あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の

△藤原あはれ
三言直

あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の
あはれし思ひの川の

先祖生録
沙抄八病生本元忠衛子
作者ア對云ク五位下安徳子

二代宗承分五十二仁和三年
正月七日授左近衛盛播ノ權少輔兼左近衛五位上

イモのゆゑ
抄云和泉大將定國陸奥守
陸奥守不立外服都々

忠孝和守十伴と稱して先師土部刺史叙言命以自帯ス
ミフニブトヨリ

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

カラス園生蓮生
カラス園生蓮生
カラス園生蓮生

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて
むらさきの色にまじりて

持り 持首本王と不... 延喜式五庫式... 持首一長概括... 仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

仁和帝 老考了... 即位元年改仁和十... 在位二年 仁明天皇... 御子 親王と... 今よと八昭宣... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和... 長年の人... 一和...

今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一
 今抄一

神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...

桓武天皇
 大正天皇
 在元行平
 伊奈内江王桓武天皇也 三代正徳云天長三年親王上表 於皇詔賜在元朝臣
 定名云本朝本朝物云之應六年正月任中御... 八年正二位仁和三年正月十一日
 致任七十 宣平五年世死

神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 神事... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...

可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...
 可... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...

△寛平の神事... 神... 賦... 白... 命... 神... 惟... 海...

光孝天皇は是忠臣... 元和元年三月九日... 貞元年の... 貞元年の... 貞元年の...

式部卿... 式部卿... 式部卿... 式部卿... 式部卿...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

定平六年正月... 定平六年正月... 定平六年正月... 定平六年正月... 定平六年正月...

正四位上兵部大輔... 正四位上兵部大輔... 正四位上兵部大輔... 正四位上兵部大輔... 正四位上兵部大輔...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

源中平... 源中平... 源中平... 源中平... 源中平...

うけりて... 柳の... 賦... 柳乃... あり... 柳乃... あり... 柳乃... あり...

賦

あきやまの東よりかきみさるる比乃まきぶ。花乃や...

びわると也。いものさうとらつてむのがこら...

とつふまき柳をあきまきと柳とらふまきと申畧とる也

まきりぞい。まきぞなり

恒武帝、良善安世... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

仁和帝... 大納言安世八男

又當にうらやまひらき先登九百屯
柳橋とのそくあつりさとしり
あやの校乃美じまじり百子もとりたれとも若くは海
はうの管の校の美ひまじりまじりたれともあひくの者と
まじりて拾五十五をとりてあひの月をぬきし人かきり
まじりて拾五十五をとりてあひの月をぬきし人かきり

猿丸集

又當にうらやまひらき先登九百屯
柳橋とのそくあつりさとしり
あやの校乃美じまじり百子もとりたれとも若くは海
はうの管の校の美ひまじりまじりたれともあひくの者と
まじりて拾五十五をとりてあひの月をぬきし人かきり
まじりて拾五十五をとりてあひの月をぬきし人かきり

Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of the adjacent page's content. The text is dense and fills most of the page.

たりやうにたりやうに
信じてくたりやうに
のりやうにまませ

蘇とら子 蘇とら子

王がころを約ありふ思ひを味とあひしてあつらひ

△西の約あり 伊勢の西條宿女七条在女房

財をあるふし 財をあるふし

かたし かたし

人として 人として

△おん人 おん人

二 二

一枝 一枝

う う

財 財

材 材

材 材

材 材

念 念

ゆ ゆ

む む

る る

漢 漢

つ つ

人 人

柳 柳

中 中

ま ま

あ あ

あ あ

備集... 賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

賦花

正三位左大臣... 賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

東三條右大臣

源朝長... 源朝長...

賦花

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物... 素性法師...

素性法師

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

賦花

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

賦花

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

賦花

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

賦花

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

賦花

賦花... 人の... 香... 花... 人... 物...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

...の...
...の...
...の...
...の...

此作はたけりしとて... 休まらばりしに... けりしとて... けりしとて...

けりしとて... けりしとて... けりしとて... けりしとて...

けりしとて... けりしとて... けりしとて... けりしとて...

けりしとて... けりしとて... けりしとて... けりしとて...

けりしとて... けりしとて... けりしとて... けりしとて...

けりしとて... けりしとて... けりしとて... けりしとて...

山を... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

山上... 山上... 山上... 山上...

たつたぬが子ちりちりて... 紀ありとも

紀ありとも 武内七世紀本権一有友一友則

あつたぬが子ちりちりて... 紀ありとも 武内七世紀本権一有友一友則

紀ありとも 武内七世紀本権一有友一友則

あつたぬが子ちりちりて... 紀ありとも 武内七世紀本権一有友一友則

人ようそとせりりり

△こはの

我家乃むんそふろ人ちりる人後そあうろ

あつたぬが子ちりちりて... 紀ありとも 武内七世紀本権一有友一友則

△伊勢

財入る人ちり山里乃さくもあつちりる人後そさうま

あつたぬが子ちりちりて... 紀ありとも 武内七世紀本権一有友一友則

一 本二本とあり。是は... (vertical text)

出巻... 姚花... (vertical text)



Handwritten text in cursive script, likely a letter or document.



